

第 22 回日本婦人科がん検診学会 総会・学術集会

会 期：平成 25 年（2013 年）11 月 9 日（土）、10 日（日）

会 場：くまもと県民交流館パレア
熊本市中央区手取本町 8-9 テトリア熊本（鶴屋百貨店）9 階、10 階
TEL：096-355-4300

会 長 片 渕 秀 隆

（熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学分野教授）

学術集会事務局 熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学分野
熊本市中央区本荘 1-1-1
TEL：096-373-5269 FAX：096-363-5164
E-mail：obgyn@kumamoto-u.ac.jp
<http://www.jagcs.org/>

後援：熊本県

婦人科がん検診の現状と将来を熊本の地で考える

熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学分野 教授

第 22 回日本婦人科がん検診学会 学術集会長 片瀧 秀隆

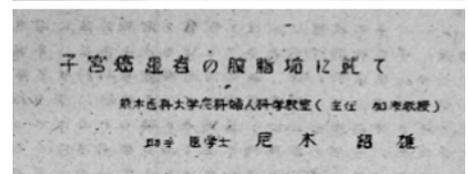


第 22 回日本婦人科がん検診学会総会・学術集会を、2013 年 11 月 9 日（土）午後と 10 日（日）午前熊本で開催させて頂くことになり、大変光栄に存じております。この機会をお与え頂きました会員の皆様には心より厚くお礼申し上げます。

本学会において現在最も力を注ぐべきがんは、1990 年代後半に罹患率が再び上昇に転じ、しかも妊孕能を保持しなければならない 20 代・30 代の若年女性に増加している子宮頸癌であることは改めて申し上げるまでもありません。1982 年、当時最も多いがんとして認識されていた胃癌と子宮頸癌をはじめとしたがんの死亡率を減少させるために『老人保健法』が制定され、その中の事業として子宮頸がん検診も正式に導入されました。その結果、2001 年、厚生労働省は、全てのがん検診の評価の中で細胞診による子宮頸がん検診が最も有効であることを発表しています。しかし、OECD のデータによると、本邦における子宮頸がん検診の受診率は 23.7%（2005 年）で、加盟 22 ヶ国の中で最低です。その後も、2007 年に策定された『がん対策推進基本計画』の個別目標のひとつとして掲げられた「50% 以上のがん検診受診率」には遠く及ばない 30% 以下を推移しています。1928 年に Papanicolaou が、「腔細胞診が子宮頸癌の診断に応用可能である」ことを初めて報告して以来、子宮頸がん検診は Pap test として普及し、欧米では 80% を超える高い検診率を示しています。この腔細胞診の日本における最初の報告は、1948 年、尼木紹雄が『日本婦人科学会熊本地方部會會報』の第四巻第一號に「子宮癌患者の腔脂垢に就て」のタイトルで発表した論文です。この事実を 2000 年に発刊された『新女性医学体系』34 巻の中に収められている利部輝雄教授の論文を通して知り、セピア色に変色した教室に残る原本を手にした時、身震いがする思いでした。がん検診の先駆けとして本邦において発展し、半世紀を超える歴史を誇る子宮頸がん検診を中心に、婦人科がん検診について、従来の開催地である東京を離れて、熊本という地方で改めて考える学術集会にするべく、プログラムを企画させて頂きました。

特別講演として、米国 Johns Hopkins 大学病理学教室の Robert J. Kurman 教授をお招きしております。Kurman 教授は、1988 年に米国で導入された The Bethesda System の推進者で、『Blaustein's Pathology of the Female Genital Tract』の編集に代表されるように、婦人科病理診断学の世界的第一人者で、20 年ぶりの来日です。また、国立がん研究センターがん予防・検診研究センター検診研究部検診評価研究室の濱島ちさと室長、(株) キャンサースキャンの石川善樹氏に教育講演をご担当頂きます。さらに、ワークショップでは、I. 「婦人科がん検診の次なる展開：卵巣がん検診の未来」、II. 「子宮頸がん検診：TBS と HPV テストの現状」、III. 「HPV ワクチンの本音を聞いてみよう！」をテーマとさせて頂き、III は市民公開講座パート I としております。閉会後の午後には、「子宮頸がん検診のことを正しく知りたいあなたの為の講座です」として、市民公開講座パート II を引き続き開催致します。

政令都市熊本のシンボルは、2008 年に築城 400 年を迎えた熊本城です。豪華絢爛な「昭君の間」を擁する本丸御殿が新装され、中心街にある学会場からも歩いて行ける距離にあります。街を走る市電を利用すれば、水前寺公園、そして夏目漱石、小泉八雲、森 鴎外にまつわる史跡を巡ることができ、地方とはいえ、会場周辺の歓楽街は不夜城の様相を呈して賑わっております。また、郊外には黒川温泉をはじめ多くの温泉がございますので、学会の後には阿蘇や菊池・玉名の温泉巡りもまた一興かと存じます。記憶に残る会になることを願いながら、万端の準備を整え、皆様のご参加を心よりお待ちしております。



参加者の皆様へ

I. 受付・参加費

事前登録はございませんので、参加受付にて当日お支払いください。
参加章に所属・氏名をご記入のうえ、会場では必ずご着用ください。

1. 受付時間

11月 9日(土) 12:00~18:20

11月 10日(日) 8:00~12:30

2. 受付場所

くまもと県民交流館パレア 10階ロビー

3. 参加費

6,000円(現金受付のみ)

※初期研修医・医学部学生は無料

4. 抄録集

当日、1,000円で販売いたします。(会員には事前発送済みです)

5. 各種資格更新のための単位交付

日本産科婦人科学会研修出席証明シール(期間中に10単位1枚)

日本産婦人科医会研修参加証(期間中に1枚)

日本臨床細胞学会細胞診専門医(15単位)

日本臨床細胞学会細胞検査士(9日/JSC:5 IAC:5、10日/JSC:5 IAC:4)

※上記受付時間中のみ配付いたします。

※細胞検査士の方は検査士カードをご持参ください。

II. 座長、演者の方へのご案内

1. 座長の方へ

担当セッションの開始10分前に、会場内前方の「次座長席」にご着席ください。

担当セッションの進行は、時間内に終了するよう、円滑な運営にご協力をお願いいたします。

2. 演者の方へ

(1) 発表形式はPC発表です。

スライドやビデオは使用できませんので、ご注意ください。

(2) 会場へは、1. USBメモリ、2. CD-R、3. パソコン本体、以上1~3のうち、いずれかの形で発表データをお持ち込みください。

(3) 講演開始30分前迄にPC受付にて発表データの試写と受付を済ませてください。

PC持ち込みの方も、30分前迄にPC受付へお越しください。

(4) パワーポイントの「発表者ツール」機能は使用できません。

(5) PC受付のパソコンは台数が限られております。

受付パソコンを独占しての長時間のデータ修正はご遠慮願います。

学会場ではレイアウト修正のみとし、データ修正等は事前に済ませてから学会場へお越しください。

★ご発表10分前には、会場内前方の「次演者席」に着席し、待機してください。

【発表データについて】

■USBメモリ、またはCD-R(RW不可)をお持ち込みの方への注意事項

(1) ソフトは、以下のものをご使用ください。

Windows版PowerPoint 2003/2007/2010

※Macintoshをご使用の方は、PCをお持ち込みください。

※動画ファイルをご使用の方は、PCをお持ち込みください。

- (2) フォントは OS 標準のもののみご使用ください。
- (3) 画面の解像度は、XGA (1024×768) でお願いいたします。
- (4) CD-R (RW 不可) への書き込みは、ISO 9660 方式をお使いください。
※パッケージ方式ですと、会場 PC で読み込めない恐れがあります。

■ノート PC をお持ち込みの方への注意事項

- (1) バックアップとして、必ずメディアもご持参ください。
- (2) 画面の解像度は、XGA (1024×768) でお願いいたします。
- (3) PC 受付の液晶モニターに接続し、映像の出力チェックを行ってください。
※PC の機種や OS によって、出力設定方法が異なります。
- (4) プロジェクターとの接続ケーブル端子は、ミニ Dsub15 ピンです。
PC によっては専用のコネクタが必要になりますので、必ずお持ちください。
※特に VAIO、MacBook 等小型 PC は、別途付属コネクタが必要な場合がありますので、くれぐれもご注意ください。
- (5) スクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除願います。
- (6) コンセント用電源アダプタを必ずご持参ください。
※内蔵バッテリー駆動ですと、ご発表中に映像が切れる恐れがあります。

Ⅲ. 関連会議・行事

1. Robert J. Kurman 教授来熊記念講演会

日時：11月8日（金）19：00～21：00

会場：ホテル日航熊本 5階「阿蘇」

2. 常務理事会

日時：11月9日（土）10：00～11：00

会場：くまもと県民交流館パレア 9階「会議室1」

3. 理事会

日時：11月9日（土）11：00～12：30

会場：くまもと県民交流館パレア 9階「会議室1」

4. 評議員会・総会

日時：11月9日（土）15：00～15：30

会場：くまもと県民交流館パレア 10階「パレアホール」

5. 市民公開講座

パート I 「HPV ワクチンの本音を聞いてみよう！」

日時：11月10日（日）10：40～12：20

パート II 「子宮頸がん検診のことを正しく知りたいあなたの為の講座です」

日時：11月10日（日）13：00～14：40

会場：くまもと県民交流館パレア 10階「パレアホール」

※事前申込制

6. サテライトセミナー 日本産婦人科医会がん部会事業研修会

日時：11月10日（日）14：50～16：50

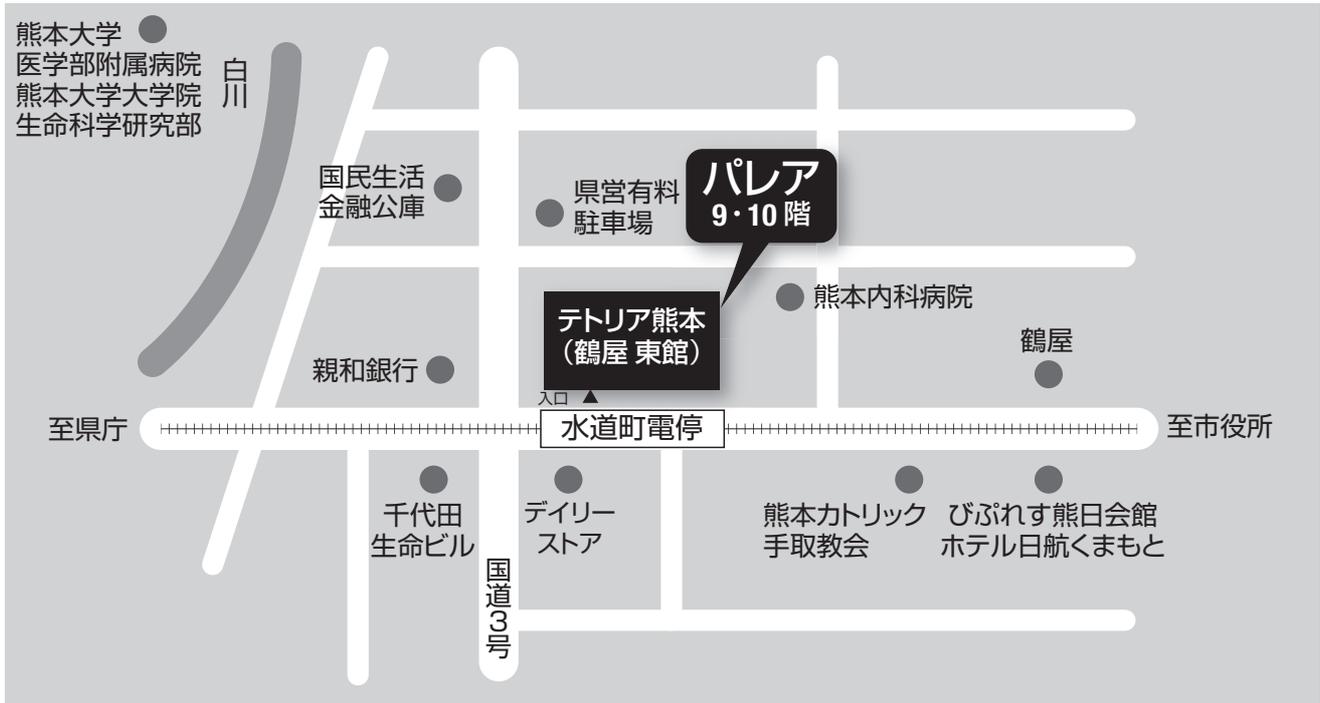
会場：くまもと県民交流館パレア 10階「パレアホール」

Ⅳ. その他

呼出

会場内での呼び出しは行いません。

交通のご案内

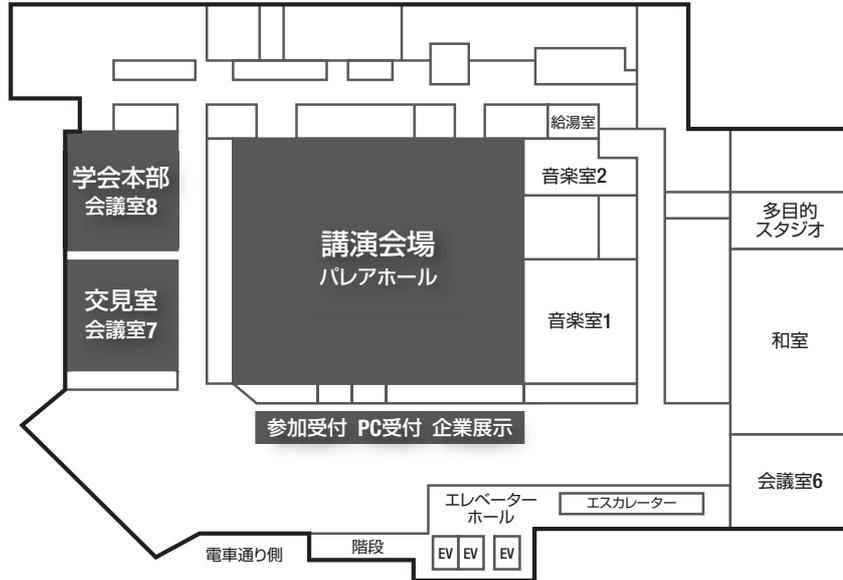


JR 熊本駅	市電	17分	「水道町」「通町筋」電停
	熊本市営バス、九州産交バス、熊本電鉄バス	18分	「水道町」「通町筋」バス停
	タクシー	15分	
熊本交通センター	市電	6分	「水道町」「通町筋」電停
	熊本市営バス、九州産交バス、熊本電鉄バス	7分	「水道町」「通町筋」バス停
	タクシー	5分	
JR 水前寺駅	市電	10分	「水道町」「通町筋」電停
	熊本市営バス、九州産交バス、熊本電鉄バス	10分	「水道町」「通町筋」バス停
	九州産交バス (空港専用リムジンバス)	40分	「通町筋」バス停
九州自動車道	益城熊本空港インターチェンジ	車	30分 (約 7.5km)
	熊本インターチェンジ	車	30分 (約 7.8km)

くまもと県民交流館パレア

会場案内

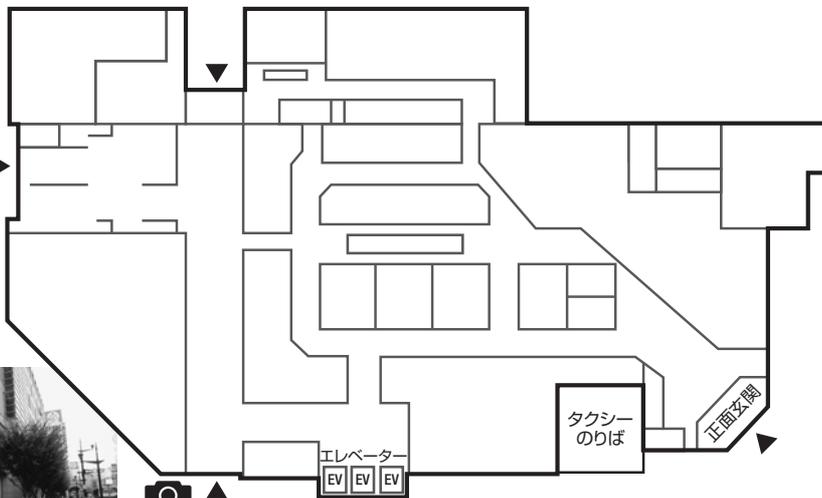
10階



9階



1階





電車通り側入口 電車通り側の入口から入館され 入口すぐ右側のエレベーターで 10階へお上がりください。

日程表

第1日目 11月9日(土)		第2日目 11月10日(日)	
くまもと県民交流館パレオ 10階 講演会場 (パレオホール)		くまもと県民交流館パレオ 9階 会議室1	
9:00	<p>前日 11月8日(金) ホテル日航熊本 5階 阿蘇</p> <p>19:00~21:00 Robert J. Kurman教授 来熊記念講演会</p>		
10:00		10:00~11:00 常務理事会	8:30~10:25 ワークショップII 子宮頸がん検診： TBSとHPVテストの現状 座長：鈴木 光明 今野 良 ステートメント：Robert J. Kurman 演者：三上 芳喜 大竹 秀幸 藤井多久磨 共催：MSD株式会社
11:00		11:00~12:30 理事会	10:40~12:20 ワークショップIII (市民公開講座パートI) HPVワクチンの本音を聞いてみよう! 座長：八重樫伸生 田代 浩徳 ステートメント：野田起一郎 演者：久保田美穂 片瀨美和子 片瀨 秀隆 岩田 真美 共催：ジャパンワクチン株式会社
13:00	13:00~13:05 開会式		12:20~12:25 閉会式
14:00	13:05~14:00 教育講演I 子宮頸がん検診： HPV 検診を巡る最近の動向 座長：佐々木 寛 演者：濱島ちさと		13:00~14:40 市民公開講座パートII 子宮頸がん検診のことを正しく知りたい あなたの為の講座です 司会：村上 美香 片瀨 秀隆 演者：高石 清美 加来 恒壽 柳井 広之 藤原 寛行 共催：株式会社キアゲン
15:00	14:05~15:00 教育講演II がん検診受診率向上と精度管理に関する 最近の動向 座長：橋本 朗 演者：石川 善樹		15:00 サテライトセミナー 14:50~16:50 日本産婦人科医会がん部会事業研修会 座長：田中 信幸 演者：岩成 治 座長：福岡 啓造 演者：宮城 悦子 ディスカッション 座長：片瀨 秀隆
16:00	15:00~15:30 評議員会・総会		
17:00	15:30~17:00 ワークショップI 婦人科がん検診の次なる展開： 卵巣がん検診の未来 座長：青木 大輔 植田 政嗣 演者：松村 謙臣 増田 健太 共催：中外製薬株式会社		
18:00	17:10~18:20 特別講演 New Concepts in the Pathogenesis and Origin of Ovarian Cancer Shifting the Paradigm 座長：片瀨 秀隆 演者：Robert J. Kurman ※同時通訳有り		

プログラム

教育講演 I

第 1 日目 11 月 9 日 (土) 13:05~14:00

講演会場 10F パレアホール

座長：佐々木 寛 (東京慈恵会医科大学附属柏病院産婦人科)

子宮頸がん検診：HPV 検診を巡る最近の動向

濱島ちさと (国立がん研究センター)

教育講演 II

第 1 日目 11 月 9 日 (土) 14:05~15:00

講演会場 10F パレアホール

座長：橋本 朗 (熊本県総合保健センター)

がん検診受診率向上と精度管理に関する最近の動向

石川 善樹 (キャンサーズキャン イノベーションディレクター)

ワークショップ I

第 1 日目 11 月 9 日 (土) 15:30~17:00

講演会場 10F パレアホール

婦人科がん検診の次なる展開：卵巣がん検診の未来

共催：中外製薬株式会社

座長：青木 大輔 (慶應義塾大学医学部産婦人科)

植田 政嗣 (大阪がん循環器予防センター婦人科検診部)

WS I-1 検診対象としての卵巣癌

松村 謙臣, 小西 郁生
(京都大学 婦人科学産科学)

WS I-2 遺伝性乳癌卵巣癌 HBOC のサーベイランス

増田 健太¹⁾, 阪埜 浩司¹⁾, 平沢 晃²⁾, 植木 有紗¹⁾, 進 伸幸¹⁾,
小崎健次郎²⁾, 菅野 康吉²⁾, 青木 大輔¹⁾
(慶應義塾大学医学部産婦人科¹⁾, 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター²⁾)

特別講演

第 1 日目 11 月 9 日 (土) 17:10~18:20

講演会場 10F パレアホール

座長：片渕 秀隆 (熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学)

New Concepts in the Pathogenesis and Origin of Ovarian Cancer Shifting the Paradigm

Robert J. Kurman (Departments of Pathology, Gynecology and Obstetrics and Oncology, Division of Gynecologic Pathology The Johns Hopkins University School of Medicine, USA)

ワークショップⅡ

第 2 日目 11 月 10 日 (日) 8:30~10:25

講演会場 10F パレアホール

子宮頸がん検診：TBS と HPV テストの現状

共催：MSD 株式会社

座長：鈴木 光明 (自治医科大学産婦人科)

今野 良 (自治医科大学附属さいたま医療センター産婦人科)

ステートメント：Robert J. Kurman (Departments of Pathology, Gynecology and Obstetrics and Oncology, Division of Gynecologic Pathology The Johns Hopkins University School of Medicine, USA)

WSⅡ-1 子宮頸がん検診と TBS：腺系病変の診断
三上 芳喜
(京都大学医学部附属病院病理診断科)

WSⅡ-2 子宮頸がん検診と TBS：地域における実践
大竹 秀幸^{1,2)}, 八木 剛志¹⁾, 橋本 朗¹⁾, 井上 尊文¹⁾,
三森 寛幸^{1,3)}, 福間 啓造¹⁾, 吉村 栄^{1,4)}, 田代 浩徳^{1,5)}, 片渕 秀隆^{1,5)}
(熊本県がん検診従事者(機関)認定協議会子宮がん部会¹⁾, 人吉総合病
院²⁾, 国立病院機構熊本医療センター³⁾, 熊本県健康福祉部健康局健康づ
くり推進課⁴⁾, 熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学分野⁵⁾)

WSⅡ-3 子宮頸がん検診と HPV テスト：HPV ワクチン時代における対応
藤井多久磨
(藤田保健衛生大学医学部産婦人科)

ワークショップⅢ（市民公開講座パートⅠ）第2日目 11月10日（日） 10：40～12：20

講演会場 10F パレアホール

HPV ワクチンの本音を聞いてみよう！

共催：ジャパンワクチン株式会社

座長：八重樫伸生（東北大学医学部産婦人科）

田代 浩徳（熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学）

ステートメント：野田起一郎（子宮頸がん征圧をめざす専門家会議）

WSⅢ-1 小学校におけるがん教育の実際

久保田美穂

（埼玉大学教育学部附属小学校）

WSⅢ-2 PTA の立場から

片渕美和子

（一般財団法人・熊本県PTA教育振興財団）

WSⅢ-3 HPV ワクチン功罪の二律背反の議論の前に：10代からの「がん教育」の実践

片渕 秀隆

（熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学）

WSⅢ-4 子宮頸がん予防に向けて～行政の立場から～

岩田 眞美

（横浜市健康福祉局健康安全部）

市民公開講座パートⅡ 第2日目 11月10日（日） 13：00～14：40

講演会場 10F パレアホール

子宮頸がん検診のことを正しく知りたいあなたの為の講座です

共催：株式会社キアゲン

司会：村上 美香（KKT くまもと県民テレビ）

片渕 秀隆（熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学）

市民Ⅱ-1 子宮頸癌のリスク因子

高石 清美

（熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学）

市民Ⅱ-2 子宮がん検診の成り立ち

加来 恒壽

（九州大学大学院医学研究院保健学部門）

市民Ⅱ-3 子宮頸がん検診（細胞診）の方法

柳井 広之

（岡山大学医学部附属病院病理診断科）

市民Ⅱ-4 細胞診/HPV-DNA 併用検診
藤原 寛行
(自治医科大学産科婦人科学教室)

サテライトセミナー
日本産婦人科医会がん部会事業研修会 第 2 日目 11 月 10 日 (日) 14 : 50 ~ 16 : 50

講演会場 10F パレアホール

「ベセスダシステムと子宮頸がん検診リコメンデーションの普及」と「HPV ワクチンの接種率向上に向けて」

主催：熊本県産婦人科医会/公益社団法人日本産婦人科医会

共催：株式会社キアゲン/グラクソ・スミスクライン株式会社/ジャパンワクチン株式会社/
日本ベクトン・ディッキンソン株式会社/三菱化学メディエンス株式会社

■14 : 50

会長挨拶・趣旨説明

八木 剛志 (熊本県産婦人科医会会長)

■15 : 00 ~ 15 : 45

座長：田中 信幸

(済生会熊本病院予防医療センター副部長)

ベセスダシステムと子宮頸がん検診リコメンデーションの普及

演者：岩成 治

(日本産婦人科医会がん対策委員会委員長/島根県立中央病院母性小児診療部長)

■15 : 45 ~ 16 : 30

座長：福間 啓造

(熊本県産婦人科医会理事)

科学的根拠に基づく HPV ワクチンの有用性と安全性

演者：宮城 悦子

(横浜市立大学附属病院化学療法センター長)

■16 : 30 ~ 16 : 45

ディスカッション

併用検診導入・HPV ワクチン接種率向上に向けて

座長：片渕 秀隆

(熊本大学医学部産科婦人科教授)

■16 : 45

総括

片渕 秀隆 (熊本大学医学部産科婦人科教授)

■16 : 50

閉会